

データ駆動による課題解決型人文学の創成 ～データ基盤の構築・活用による次世代型人文学研究の開拓～ KICKOFF SYMPOSIUM

「AI×人文学 —データ駆動による未来形成—」

文部科学省の大規模学術フロンティア促進事業として、平成26(2014)年度から令和5(2023)年度までの十か年で実施した「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」(歴史的典籍NW事業)の成果をさらに発展させる後継事業として、「データ駆動による課題解決型人文学の創成～データ基盤の構築・活用による次世代型人文学研究の開拓～」(国文研DDHプロジェクト)を、令和6(2024)年度から令和15(2033)年度までの十年計画で開始しました。

プロジェクト開始にあたって以下のとおりキックオフシンポジウムを開催します。本プロジェクトの基盤となる理念について、各界を代表する研究者に語っていただきます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時：2024年12月1日(日) 13:00～16:10(受付開始：12:30)

会場：一橋大学一橋講堂(東京都千代田区一ツ橋2-1-2)

オンライン同時配信あり

主催：大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国文学研究資料館

後援：文部科学省／日本学術会議／情報・システム研究機構／ゲート大学フランクフルト・アム・マイン日本学研究所／国立情報学研究所／データサイエンス共同利用基盤施設／実践女子大学／奈良文化財研究所／ハイデルベルク大学日本学科／東京大学史料編纂所／国立国会図書館／TOPPAN株式会社／文学通信

<https://www.nijl.ac.jp/event/lecture/2024/12/17-62024.html>

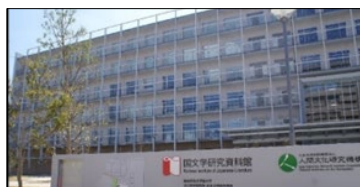
当日は、会場ロビーにおいて、小型顕微鏡を使った古典籍の分析体験を予定しています。

本物の古典籍に直に触れて、観察を行うことができます。

このほか、ポスター発表やブース展示を行います。



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国文学研究資料館



国文学研究資料館は、国内各地に所蔵される日本文学とその関連資料のデータを大規模に集積し、さまざまな分野の研究者の利用に供するとともに、それらに基づく先進的な共同研究を推進する総合研究機関です。

創設以来50年以上にわたって培ってきた日本の古典籍に関する研究の蓄積を活かし、国内外の研究機関・研究者と連携し、日本の書物を豊かな知的資源として活用する、分野を横断した研究の創出に取り組んでいます。

【連絡先】 国文学研究資料館管理部学術情報課社会連携係
TEL：050-5533-2910 メールアドレス:jigyoku@nijl.ac.jp

※メディアの方は、申込不要です。受付に直接お越しください。